

シンポジウム：細胞アッセイ技術の現状と将来

2015年1月13日(火)

東京大学生産技術研究所コンベンションホール

主催：細胞アッセイ研究会

共催：公益社団法人化学工学会バイオ部会

国立大学法人東京大学生産技術研究所（予定）

独立行政法人産業技術総合研究所幹細胞工学研究センター

協賛：一般社団法人化学とマイクロ・ナノシステム学会

日本動物実験代替法学会

特定非営利活動法人エイチ・エー・ビー研究機構

公益社団法人日本生物工学会セルプロセッシング計測評価研究部会

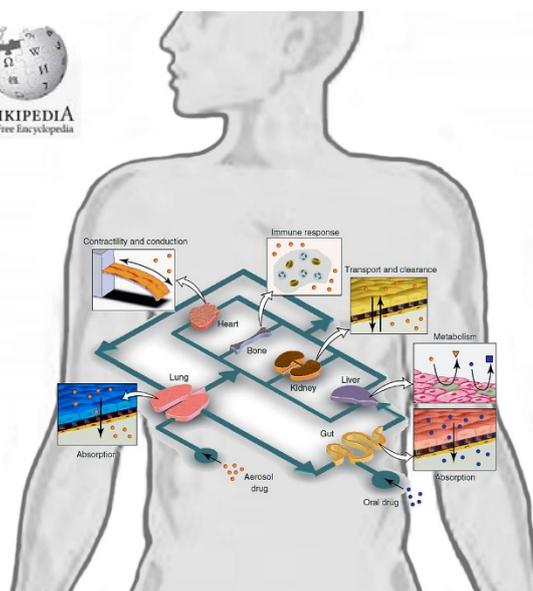
”Human-On-A-Chip”のコンセプト*は、丁度10年前、Cornel大学のShuler教授によって発表された際にはまるでSFのように思いましたが、これに対し米国DARPA (Defense Advanced Research Projects Agency)は年3,700万ドルの研究費を5年間拠出すると発表しました。この国家プロジェクトは、研究資金はDARPAが負担するものの、NIHとFDAもプロジェクトの管理・運営に参画している点でも、注目されています。更に、EUやロシアでも同様の大型プロジェクトが進行中であり、中国でも既に開始が決定されているとのことです。

こういった状況の中、我が国では当該技術に対する関心は高いとは言えず、研究開発もほとんど行われていないのが現状です。この国内外の温度差を少しでも解消す

べく、本年度は”Human/Organs-On-A-Chip”をメインテーマとして、本シンポジウムを開催します。

また、細胞アッセイ技術に関するポスター発表を募集いたしますので、メインテーマにとらわれることなく、沢山のお申し込みをお待ち申し上げます。

*: *Biotechnol. Prog.*, **20**, 590-597 (2014)



基調講演

「Human/Organs-On-A-Chip にそもそも求められることは？」

東京大学生産技術研究所 酒井 康行

「9th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (WC9)報告 ～

Human/Organs-On-A-Chip 研究の世界動向 ～」

産業技術総合研究所幹細胞工学研究センター 金森 敏幸

「Wyss Institute における Organ-on-a-chip プロジェクト」

Harvard 大学 Wyss Institute 鳥澤 勇介

「ES/iPS 細胞を用いた安全性評価研究の現状と課題」

住友化学株式会社生物環境科学研究所 斎藤 幸一

「Human/Organs-On-A-Chip 研究開発への期待と懸念」

国立医薬品食品衛生研究所薬理部 小島 肇

組織委員

石田 誠一 (国立医薬品食品衛生研究所)
柿木 基治 (エーザイ(株))
金森 敏幸 (産業技術総合研究所)
小島 肇 (国立医薬品食品衛生研究所)
小林 英毅 (第一三共(株))
斎藤 幸一 (住友化学株式会社)
酒井 康行 (東京大学生産技術研究所)
薩川 正広 (科研製薬(株))
清水 秀忠 (日本ベーリンガー・インゲルハイム(株))
杉浦 慎治 (産業技術総合研究所)
平林 英樹 (武田薬品工業(株))
山田 泰弘 (田辺三菱製薬(株))
山下 伸二 (摂南大学薬学部)

一般演題募集

ポスター発表で募集いたします。発表申し込みは、タイトル、全発表者名と所属、連絡担当者名と e-mail アドレスをご記載の上、メールで下記問い合わせ先までお願いします。締め切りは 11 月 8 日です。また、12 月 5 日までに要旨(A4 で 1 枚、カメラレディ)を提出して頂きます。

参加申し込み

事前申し込みをお願いします。一般演題に申し込んだ方も、参加申し込みが必要となります。参加者のお名前、ご所属、ご住所、e-mail アドレスおよび懇親会参加の有無を記載し、メールで下記問い合わせ先までお申し込み下さい。折り返し、お支払い方法等をお知らせ致します。

参加費	5,000 円
懇親会	5,000 円

問い合わせ先

独立行政法人産業技術総合研究所幹細胞工学研究センター
金森敏幸
TEL 029-861-6286
e-mail: t.kanamori@aist.go.jp